



## 経営理念

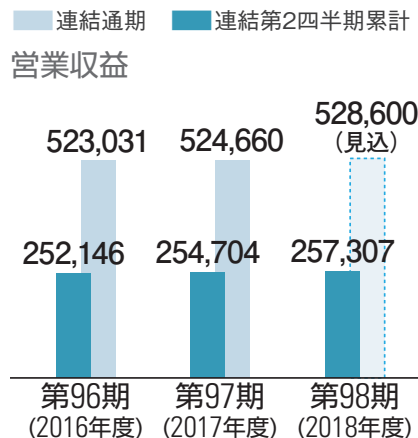
小田急グループは、お客さまの  
「かけがえのない時間<sup>とき</sup>」と「ゆたかな暮らし」  
の実現に貢献します。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第98期上半期の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長 星野晃司

## ■ 連結業績ハイライト 単位：百万円



## 第98期(2018年度)第2四半期連結決算の概要

営業収益は2,573億7百万円と、前年同期に比べ26億3百万円の増加(前年同期比1.0%増)となりました。

一方、営業利益は運輸業において費用が増加したことなどから294億5千万円と、前年同期に比べ8億2千8百万円の減少(前年同期比2.7%減)、経常利益は287億4千9百万円と、前年同期に比べ2億8千5百万円の減少(前年同期比1.0%減)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては191億2千3百万円と、前年同期に比べ8千1百万円の減少(前年同期比0.4%減)となりました。

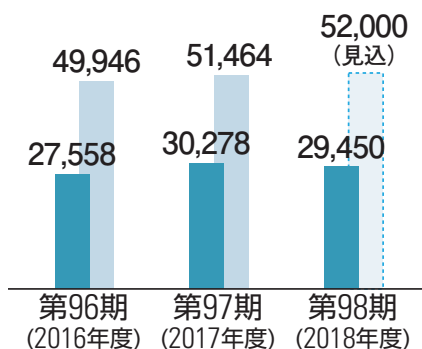
## 第98期(2018年度)の見通し

当期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえセグメント別内訳を変更しておりますが、2018年4月27日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

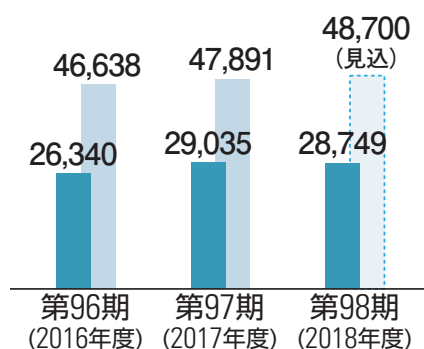
営業収益は5,286億円(前年比0.8%増)と、運輸業において、当社の鉄道事業における複々線化に伴うダイヤ改正効果を下方修正した一方で、流通業の百貨店業において、免税売上が好調に推移することを見込み、従来予想を据え置いております。

これに伴い、営業利益は520億円(前年比1.0%増)、経常利益は487億円(前年比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円(前年比5.7%増)と、従来予想を据え置いております。

### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益

